

経過

防災塾・だるま

- 2012 年 10 月 港中学校から防災塾・だるまに防災授業への協力要請、打合せ開始。
- 2013 年 1 月 8 日(火) 「教職員研修会」実施
- レクチャー ①港中学の防災(池田さん) ②地震災害・防災減災(片山さん)
 - クロスロード (講師:加藤さん ファシリテーター:だるまメンバー)
- 2 月 28 日(木) 「防災教室」実施(対象:1・2 年生 防災塾・だるま:教材提供と授業サポート)
- 大震災の記録から学ぶ:映像(阪神淡路大震災)とスライド(関東大震災)
 - ワークショップ「大震災に遭遇した時の行動を考える」(グループ討議)
- 7 月 17 日(水) 「防災マップ作り授業」(講師:森さん)
- 防災マップ作りの目的(地域の危険・状況を知る 命を守る行動を考える)
 - 防災マップの作り方
- 夏休み~第 2 学期 まち歩き、各クラスのマップを持ち寄り「港中 防災マップ」作り(保健委員会)
- 12 月 9 日(木) 学校保健委員会
- 防災マップの発表と防災クイズ(保健委員会)
 - 関東大震災の映像と解説(講師:松本氏)と講話(池田さん、高松さん)

《港中学校・平成 25 年度学校保健委員会の概要》



《防災クイズ》

三択クイズで防災情報を学ぶ
全員参加で一気にヒートアップ。



《「港中 防災マップ」の発表》

夏休みのまち歩きから始まった。
マップ作りで知ったこと・学んだこと。



《関東大震災の映像と解説》

90 年前、横浜はどうなったか?
そして 5 年後の復興は?(松本講師)

- ◆2013 年(平成 25 年)12 月 9 日(木) 9:00~10:20 会場:港中学体育館
- ◆参加者 港中学校:全校生徒 約 300 名 大島校長・教職員 父兄
防災塾・だるま(10 名) 松本洋幸氏(横浜市ふるさと歴史財団) 中区総務課(2 名)
- ◆進行:
- 9:00 開会の言葉(生徒会)
 - 9:05 防災クイズ(1 年保健委員会)
 - 9:15 防災マップについて・・・「港中 防災マップ」発表(2 年保健委員会)
 - 9:30 防災講話(池田さん)
 - 9:33 「関東大震災から地震について考えよう」(映像と解説)
(講師:横浜市ふるさと歴史財団 松本洋幸さん)
 - 9:55 港中学の防災・減災の取組みについて(高松さん)
 - 10:10 校長先生の言葉(大島校長)
 - 10:15 閉会の言葉(生徒会)

「港中 防災マップ」の発表

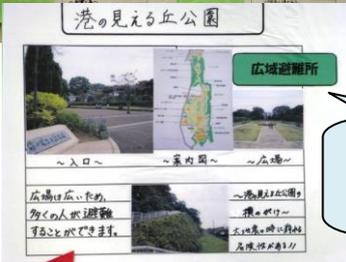
- ◇ 生徒たちが夏休みのまち歩きを通じて地域で見たこと・聞いたこと・気づいたことから、各自がマップを作り、クラスで話し合った。
- ◇ 各クラスの防災マップと地域の防災情報を持ち、保健委員会が中心となって港中学オリジナル「命を守りきれ！港中 防災マップ」を作った。
- ◇ 中区役所(防災担当)を訪問し、地域の地震被害想定や防災情報も収集。



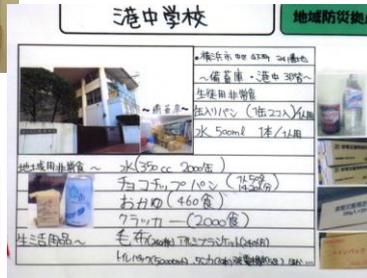
各クラスの防災マップを持ち寄り、保健委員会が港中防災マップを作成しました！



港中学と周辺地域のさまざまな危険！まち歩きを通じて、見たこと・気づいたことを色分けしてマップに落とした：危険な場所、安全な場所、防災施設、災害時に役立つ情報、対処の仕方などの情報はふせん紙で。



広域避難所や津波避難施設の情報も。



港中学は地域防災拠点。備蓄品もしっかり調査。

防災塾・だるまから港中学の生徒の皆さん

- ◇ 「まち歩き」を行い、「港中 防災マップ」をみんなで作ることを通じて、地域の危険・地域の状況を知り、どのようにして命を守るかを考え・話し合った。その成果としてすばらしいマップができた。
- ◇ 大地震にいつ・どこで遭遇するかはわからない。防災学習を積み重ねることが、命を守ること、自助・共助につながる。防災塾・だるまは、人材と経験を生かしてこれからも支援していきます。



《講師への感謝の言葉》
(並んで左から)池田さん
高松さん、松本講師。



だるまメンバーと松本講師
(これまで合計14名の
だるまメンバーが協力)

《まとめ・閉会あいさつ》 大島校長

- ◇ 地域の危険・地域の状況を知って、命を守りきる！これからも防災を学ぶ取組みを積み重ねていきます。
- ◇ 防災塾・だるまのみなさんの支援と協力に感謝。

大島校長



(報告書作成：成松)